

1 単元名 「げんきキャンプへ行こう！」

2 単元について

本学級は、知的障害学級と自閉症・情緒障害学級の2学級7名で構成されている。喃語で言葉でのコミュニケーションがやや難しい子どもから、問われていることが理解できずにオウム返しをする子ども、友達との関わりを楽しみ、下級生の世話を進んでする子ども等、実態の幅は大きい。どの子どもも体験学習を好み、楽しみ、共有することができる。その子どもたちが、何よりも一番楽しみにしているのが、「げんきキャンプ」である。親元を離れて友達と過ごす3日間は、ワクワクドキドキするものである。しかし、ただ「楽しかった！」で終わらせるものではなく、「げんきキャンプ」を生活に必要な技能や能力を身に付けることができる大切な機会と捉える。

今年度の「げんきキャンプ」の主な活動として、1日目に仕事体験テーマパーク「カンドゥー」へ行く。現在、子どもたちは「大きくなったら何になる？何がしたい？」の問い掛けに、「ディズニーランドでポップコーンを売る人。」と具体的に答えたり、まだイメージが湧かずに「虫が好き」と答えたり、様々である。「カンドゥー」で仕事を疑似体験することで、興味・関心の幅を広げられたり、働くことへの憧れ、夢や意欲を育てたりする機会としたい。また、労働の対価として報酬があるという社会の仕組みにも触れさせたい。そして、昼食は皆で外食をする。ここでは、公共の場でのマナーを意識させ、一人一人に目標をもたせて、自分で注文から支払いまでの一連の流れを経験し、楽しく会食をさせたい。

他には、「カラオケ&ダンス大会」や「杉の子映画館」を計画し、将来の余暇の過ごし方の選択の一つになったらよいと考える。全体を通して、友達と一つのことを成し遂げる気持ちよさを体験することで、自分や友達によさに気づき、集団活動に参加できる力を育てたい。

「げんきキャンプ」では、個々の実態をしっかりと把握し、成長した子どもをイメージしながら「愛される人になりますように。」「豊かな生活が送れますように。」と願いを込めて、個々の課題を設定していく。「げんきキャンプ」の活動後は、保護者と面談の場を設け、成果や今後の課題を確認する。そして、将来の自立につながるような基本的な土台を作りたい。自立する力は学校だけでも、家庭だけでも身に付くわけではない。家庭と共通理解を図り連携をとることで、子どもたちを成長させていきたい。

3 児童の実態

A児（2年 男子） 知的	喃語であり、慣れない人とは話すことに抵抗がある。学級内では、随分と声が出るようになり、身振り手振りを交えてコミュニケーションをとる。係活動や給食当番、清掃活動は進んで取り組み、少しの支援でやり遂げることができる。
B児（3年 男子） 自・情	国語、算数は入学当初から、交流学习に出ている。3年生になってからは理科も交流学习に出ている。交流学习では、得意な算数では、自信をもって挙手し、指名されるとしっかりと答えている。休憩時間には、仲の良いふざけ合える友達がおりに、会話を交わしている。好きなこと、自信があることには意欲的に取り組むが、苦手なことになると、後ろ向きな言葉を発し周りへの影響が大きい。勝敗のあるゲームの参加も、勝つ自信があれば参加するが、そうでない場合は、参加しようとならない。係活動などは、一人でやり遂げることができる。
C児（5年 女子） 知的	吃音がある。自分の思いが伝わらなくてもどかしさを感じている時がある。何に対しても意欲的に取り組み、歌とダンスが好きな学級のムードメーカーである。下級生の世話も積極的に行う。
D児（5年 女子） 知的	発音が不明瞭であり、自分の思いが伝わらない時は、「忘れた。」でその場をやり過ごす。おしゃべりが好きで、一方的に話す傾向がある。いつも明るく、学級内の活動には積極的に取り組み、少しの支援でやり遂げることができる。
E児（5年 男子） 自・情	初めての行事や、急な予定変更がとても苦手である。家でゲームをすること以外は無意味と感じている。「学校なんて何の役にも立たない。」「学校なんか燃やしてやる。」などの発言をする。「面倒臭い。」で終わらせることが多いが、別なところに理由があることが多い。5年生になり、興味・関心に少しずつ広がりが見られ、理科の交流学习を始めた。交流学級に行くと、友達から声を掛けられることに笑みを浮かべ、活動をしている。
F児（6年 男子） 知的	言語理解が難しく、オウム返しである。質問されていることへの理解は難しいが、「〇〇と〇〇、どっち？」の声掛けには答えることができる。身辺自立はしっかりとできている。決められたこと、パターン化されていることには、確実にやり遂げる。
G児（6年 女子） 知的	3年生から特別支援学級在籍。学級のリーダー。会話や遊びに幼さが見られる。下級生の世話を好み、任せることができる。委員会活動では、放送委員会となり、放送原稿を読むことができる。

4 単元の全体目標

(全体目標)

○友達と関わり合いながら、楽しく3日間を過ごすことができる。

○様々な活動や体験を通して、社会性や生活に必要な習慣や技能を学ぶ姿勢を育む。

(個別目標)

A児 (2年 男子) 知的	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の声掛けに応じて、苦手な活動にも参加することができる。 ・リュックから活動に必要な物を出すことができる。
B児 (3年 男子) 自・情	<ul style="list-style-type: none"> ・集団を意識して行動することができる。 ・時計を見て行動することができる。 ・脱いだ洋服をたたんでしまうことができる。
C児 (5年 女子) 知的	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の見解も受け入れながら活動することができる。 ・他校の友達と関わることを楽しむことができる。 ・荷物を整理しながらリュックに片付けることができる。
D児 (5年 女子) 知的	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力しながら活動することができる。 ・公共の乗り物のマナーを守ることができる。 ・自分から荷物を片付けようとするすることができる。
E児 (5年 男子) 自・情	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって、安定して行動することができる。 ・友達と協力しながら活動することができる。 ・時刻、時間を意識することができる。
F児 (6年 男子) 知的	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の友達と簡単な遊びを楽しむことができる。 ・担任の声掛けで、自分の役割をやり遂げることができる。 ・朝、ブラシを活用して、頭髪を整えることができる。
G児 (6年 女子) 知的	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーとしての自覚をもち、学級をリードすることができる。 ・他校の友達と積極的に関わり、友達が広がることを楽しむことができる。

5 指導計画

時数	主な学習活動	指導や支援の手立て	他教科との 関連
1 本時	<p>○主な活動内容を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・げんきキャンプとは何? ・いつ?どこへ?どのくらい? <p>○1日目の昼食をどこで食べるのか、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイゼリアか、フードコートか、話し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度のげんきキャンプの様子を写真で振り返り、楽しかったことを想起できるようにする。 ・過去の昼食は、コンビニで買っていたことを伝え、外食することへ気持ちを向けさせる。 ・サイゼリヤやフードコートにある店舗の写真やメニューを提示して、具体的に考えられるようにする。 	<p>生活 (日課・予定)</p> <p>国語 (聞くこと・話すこと)</p>
2	<p>○野外炊飯で何を作るのか、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・過去に何を作ったのかを伝えたり、活動の様子を写真で振り返ったりして、野外炊飯がイメージできるようにする。 	<p>国語 (聞くこと・話すこと)</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・野外炊飯のメニューから、子どもたちが作業しやすいメニューをあらかじめ絞って、提示する。 ・作業の工程や材料、出来上がり予想図などを簡単に絵で表し、話し合いへの意欲を高める。 	
3 4 5 6	<p>○3日間の掲示用の活動表を作る。</p> <p>○一緒に行く先生や学校を知る。</p> <p>○生活班と食事班を決める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー、係を決める。 ・部屋札や席札を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも見られるように掲示をして、活動内容を意識させたり、見通しをもたせたりする。 ・担任外の引率職員の顔写真があるワークシートに名前を書き意識できるようにする。学校名もワークシートに記入して、たくさんの学校、友達と行くことを意識させる。 ・過去にげんき交流会で名刺を交換した、友達がいるか、振り返り、再会できる期待感をもたせる。 ・食事の実態に応じて班の編成をする。 ・一人一係となるようにして、集団の一人であることの意識を高める。 	<p>生活 (日課・予定)</p> <p>国語 (書くこと)</p> <p>生活 (人との関わり)</p> <p>生活 (役割)</p>
7 8 9	<p>○カンドゥーについて学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこにあるのか ・どうやって行くのか ・どのようなアクティビティがあるのか ・体験したいアクティビティを決める ・館内のルールとマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所を確認したり、ホームページやパンフレット、写真などを見たりして、活動の見通しをもたせる。 ・アクティビティ毎の写真に簡単な内容を書き添えて提示する。活動内容を簡単にモデリングをしたり、子どもと一緒に模擬実践したりして、「これやりたい！」の気持ちを引き出すようにする。 ・簡単に館内を再現し、模擬実践をしながら、ルールやマナーを身に付けられるようにする。 	<p>生活 総合的な学習 の時間</p>
10 11 12	<p>○外食について学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メニューを見る。 ・注文するものを決める。 ・注文から支払いまでの一連の流れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お店の写真やメニューを用意して、友達と外食をするわくわく感を高める。 ・店員とお客さん役になり、レストランごっこをしながら、マナーやルールを身につけられるようにする。 	<p>算数 (数と計算)</p> <p>生活 (金銭の扱い)</p> <p>(社会の仕組みと 公共施設)</p>

13 14	○バイキングと入浴について学習する。 ・配膳から片付けまでの一連の流れ ・脱衣場、浴場での流れ	・ホームページでメニューを調べて、見通しをもたせる。 ・げんきキャンプ一週間前より、給食をバイキング形式にして、ルールやマナーが身に付けられるようにする。 ・教室内をお風呂場に見立てて、模擬実践を行うようにする。	生活 (基本的な生活習慣)
15 16 17 18	○野外炊飯について学習する。 ・作り方 ・役割決め ・作業のながれ ・調理実習(3H)	・絵や写真を活用したワークシートを用意する。(調理器具、材料、作り方) ・一人一役になるようにして、「みんなで作るんだ。」という意識ができるようにする。 ・調理実習を実施し、本番に向けて意欲を高める。	生活 総合的な学習の時間 家庭科
19	○ウォークラリーについて学習する。 ・コースとルールの確認 ・ペアを知る	・昨年度の活動を振り返り、ウォークラリーの見通しをもてるようにする。 ・施設の地図を用意して、歩くコースに色を付ける。 ・ペアについては、実態に応じて担任が組むようにする。	生活 (生命・自然)
20 21	○カラオケ&ダンス大会について学習する。 ・一緒に活動する学校 ・歌いたい曲を決める ・練習	・曲が決まらない子どもは、家庭の協力を得て、好みの曲の情報を集める。 ・マイクを用意して、カラオケの楽しい雰囲気を作るようにする。	音楽 体育
22 23 24	○キャンドルサービスについて学習する。 ・流れの確認 ・代表決め ・練習	・今までのキャンドルサービスを、写真で振り返り、活動の見通しをもたせる。 ・ ・	生活 (役割)
25 26 27	○クライミングウォール&ボッチャについて学習する。 ・一緒に活動をする学校 ・流れの確認 ・ボッチャの練習	・一緒に活動する学校が昨年度と同じであることを伝えて、再会を楽しみにできるようにする。 ・昨年度の記録を伝え、今年度のめあてを立て、意欲を高められるようにする。 ・ボッチャで、勝った時、負けた時の言動の取り方を、ロールプレイングをする。	体育 (器械・器具を使っている運動、ボールを使った運動やゲーム)
28 29 30	○退所式について学習する。 ・流れの確認 ・役割決め	・杉の子学級が司会進行であることをしっかりと伝え、「皆で成功させるんだ」と意識を高められるようにする。	生活 (役割)

		<ul style="list-style-type: none"> 一人一役となるようにして、皆で協力して作り上げる楽しさを味わえるようにする。 	
3 1	○めあてを立てる。	<ul style="list-style-type: none"> 担任や友達と相談しながら、少しの頑張りや達成できそうなめあてが立てられるようにする。 個々のめあてを各家庭に知らせ、励みになるような声掛けをお願いする。 	生活
3 2 3 3 3 4	○荷物学習（11月22日） <ul style="list-style-type: none"> 活動に合わせて必要な物を取り出す リュックに荷物を入れる 背負って歩く 	<ul style="list-style-type: none"> げんきキャンプ5日前に実施し、「もうすぐ行くんだ。」という意欲と期待を高められるようにする。 教室にバスや電車内の様子を簡単に再現して、ごっこ遊びを通して、乗車のマナーを身に付けられるようにする。 	生活 (基本的な生活習慣)
3 3 3 4 3 5	○振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> 作文を書く 他校の友達へ手紙を書く 掲示物を作る 	<ul style="list-style-type: none"> 写真や映像で振り返り、自己の頑張りや、友達の頑張りや認められるようにする。 写真や絵、簡単な感想を書いた掲示物を昇降口に掲示して、他の職員や他の学級の友達と会話が広げられるようにする。 	国語 (書くこと)

6 研究主題との関わり

児童の実態に合わせた支援・指導の工夫～楽しい授業を目指して～

(1) 単元の楽しさを味わわせるために

【活動内容の工夫】

- 毎年、1日目の活動に変化を付けている。29年度はボーリング、30年度はアクアリンク千葉へ行った。「次はどこへ行くの？」と子どもたちは楽しみにしている。また、昼食を買うことも楽しみにしている。このように変化を付け、活動内容を工夫している。

【掲示物の工夫】

- 学習計画表を教室に掲示して、「次は、〇〇の学習だね。」と、見通しをもてるようにしておく。また、活動表を作成し、昇降口に掲示をする。掲示を見た通常学級の子どもたちや、他の職員から声をかけられることで、意欲と期待が高まると考える。

(2) 「やった!」「できた!」「わかった!」の達成感を味わわせるために

【めあてと振り返り】

- 活動の中で、少しの支援でやり遂げられる役割を、子ども自身が選択できるように導きたい。役割が決まると、めあてを立てて、意識できるようにする。事後学習で、映像や写真で振り返り、やり遂げている自己を確認し、振り返りをさせたい。その活動が「やった!」「私にもできた!」と、自信につながり、次への意欲を高められると考える。

【活動の模擬実践】

- げんきキャンプ1週間前より、給食をバイキング形式にする。いつもと違った雰囲気を楽しみ

ながら、バイキングのマナーを身に付けられる。

- ・家庭の協力を得て、事前荷物学習を実施する。活動に必要な物をリュックから出したり、整理しながらリュックにしまったりする。また、教室内をバスの車内に見立てた場を設定し、ごっこ遊びを通して、荷物を膝の上に乗せて座ったり、背中の荷物を意識して立ってられるようにしたりする。お風呂についても同様に場を設定する。楽しみながら学び、本番での成功体験につなげたい。

7 本時の指導

(1) 本時の目標

○げんきキャンプを楽しみにすることができる。

○話し合いに参加し、自分の思いが発表できる。

(個別の目標)

A児(2年 男子) 知的	・教師の呼びかけに、目で合図を送ることができる。 ・自分の思いを指さしや顔写真カードを使って表現できる。
B児(3年 男子) 自・情	・友達の意見を最後まで静かに聞くことができる。 ・自分の思いが通らない時、友達の意見に賛同しようとすることができる。
C児(5年 女子) 知的	・楽しみな活動を発表することができる。 ・話し合いの内容に合った意見を発表することができる。
D児(5年 女子) 知的	・楽しみな活動を発表することができる。 ・自分の思いを簡単な言葉で発表することができる。
E児(5年 男子) 自・情	・指名されたら、自分の意見を発表することができる。 ・自分の思いが通らなかった場合、気持ちの切り替えが短時間でできる。
F児(6年 男子) 知的	・楽しみな活動を発表することができる。 ・自分の思いを選択肢の中から選ぶことができる。
G児(6年 女子) 知的	・積極的に意見を発表して、学習をリードすることができる。 ・自分の意見を聞き手の方を見てしっかりと発表することができる。

(2) 本時の展開 (1 / 35)

学習活動と内容	教師の支援 (□全体支援・○個別支援・◎評価)	資料
1 げんきキャンプの歌を歌う ・「○○さん。」 ・「行く行く。」	□オルガンの演奏を聴いて「げんきキャンプ！」と気 付くようにする。 □一人一人名前を呼び、「げんきキャンプ」の学習が 始まる期待感を高める。 ◎呼びかけに応じて返事ができたか。	オルガン
2 始まりの号令をかける	○気持ちが高ぶっている子に声かけして前に注目す るようにする。(T2)	
げんきキャンプへいこう！		

<p>3 昨年度までのげんきキャンプを振り返る。</p>	<p><input type="checkbox"/>担任のジェスチャーで想起できるようにする。</p>	
<p>4 「いつ」「どこへ」行くのかワークシートに書く。</p>	<p><input type="checkbox"/>「冬休みまでに行きます。」「何月だと思う？」など簡単なクイズを出して、楽しい雰囲気を作るようにする。</p>	<p>カレンダー</p>
<p>5 2泊3日の大まかな活動を確認する。</p>	<p><input type="checkbox"/>実態に応じたワークシートを用意する。</p>	<p>ワークシート</p>
<p>6 1日目の昼食について話し合う。</p>	<p><input type="checkbox"/> (A児) 手元で視写ができるようにメモ書きを提示する。(T2)</p> <p><input type="checkbox"/> (E児) 個別に声かけし、ワークシートを指さしながら、どこに何を書くのか伝える。(T1)</p>	<p>活動表</p>
<p>7 2泊3日の大まかな活動を確認する。</p> <p>6 1日目の昼食について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇が食べたい。」 ・「〇〇はおいしいよ。」 ・「ドリンクバーがいい。」 ・「フードコートだと、好きな物が食べられるよ。」 ・「ピザが食べたい。」 ・「みんなで同じものを食べるのもいいんじゃない。」 ・「スパゲティが食べたかったらどうするの。」 ・「どっちもいいなあ。決められないよ。」 ・「〇〇ちゃんと一緒がいい。」 	<p><input type="checkbox"/>簡単な活動表を提示して見通しがもてるようにする。(別紙参照)</p> <p><input type="checkbox"/>サイゼリヤとフードコート内にあるお店の写真を提示してイメージができるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもたちから出た言葉を拾って、簡単な言葉で板書して、整理しながら考えられるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> (A、D児) 個別に声掛けして、考えるヒントを与えるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/>一人ずつ指名して、皆が発表できるようにする。意見を出せるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> (A児) 個別に声掛けして、A児の思いをくみ取った簡単な文を二つ書き示し、選択できるようにする。(T2)</p> <p><input type="checkbox"/> (D児) 思いを言葉に書き表して、発表原稿を作成する。(T1)</p> <p><input type="checkbox"/> (C児) 発表内容を事前に聞き、言葉の間違いがあれば訂正しておく。(T1)</p> <p><input type="checkbox"/> (F児) 最後に指名して、他の子どもたちをモデリングにする。黒板に書かれた言葉を二つ抽出して、選択できるようにする。(T1)</p> <p><input type="checkbox"/> (E児) 何番目に指名するのか予告しておく。(T1)</p> <p><input type="checkbox"/> (B、E、G児) 自分の意見がまとまったか、声掛ける。(T1又は、T2)</p> <p>◎自分の思いや考え、意見を発表できたか。</p>	<p>活動表</p> <p>大型テレビ 写真 絵カード 思考ツール</p>
<p>7 多数決をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思うようにならなかった時、どのような言動をとればよいのか考える。 	<p><input type="checkbox"/>板書を消して、サイゼリヤとフードコートの写真のみにして、「どっちか」をわかりやすくする。</p> <p><input type="checkbox"/>「げんきキャンプ」であること、学級の皆で食事することが大切なことを確認しておく。</p>	

<p>8 学習の振り返りと、今後の学習計画を確認する。</p> <p>9 終わりの号令</p>	<p><input type="checkbox"/>「まっ、いっか。」の言葉を使えばよいことを知らせておく。</p> <p><input type="checkbox"/>カレンダーを見ながら、「いつ」「どこへ」を確認する。</p> <p><input type="checkbox"/>活動表や学習計画表を提示して、見通しがもてるようにする。</p> <p>◎楽しみな活動が発表できたか。</p> <p>○前に集中できるような声掛けをする。(T 2)</p>	<p>カレンダー</p> <p>活動表</p> <p>学習計画表</p>
---	---	--------------------------------------